

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公表番号】特表2003-515569(P2003-515569A)

【公表日】平成15年5月7日(2003.5.7)

【出願番号】特願2001-541535(P2001-541535)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/39

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月4日(2007.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 相当する野生型インターロイキン - 1 (I L - 1) に比べてヒトに対する毒性が減弱したインターロイキン - 1 (I L - 1) のムテインを含む、対象における免疫応答を修飾するための組成物。

【請求項 2】 前記 I L - 1 は I L - 1 である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】 前記 I L - 1 は成熟 I L - 1 である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】 前記 I L - 1 はヒト I L - 1 である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 5】 前記 I L - 1 の陽性に荷電した残基は他の 17 種の天然アミノ酸いずれかで置換されている、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】 前記陽性に荷電した残基はアルギニンまたはリジンである、請求項 5 記載の組成物。

【請求項 7】 前記 I L - 1 は成熟ヒト I L - 1 であり、前記陽性に荷電した残基は位置 127 におけるアルギニンである、請求項 6 記載の組成物。

【請求項 8】 ワクチン抗原に対する対象の免疫応答を修飾するために、前記ワクチン抗原と同時または連続的に組み合わせるための組成物であって、毒性の減弱したインターロイキン - 1 (I L - 1) ムテインを含む、上記組成物。

【請求項 9】 前記 I L - 1 は I L - 1 である、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 10】 前記 I L - 1 は成熟 I L - 1 である、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 11】 前記 I L - 1 はヒト I L - 1 である、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 12】 前記 I L - 1 の陽性に荷電した残基は他の 17 種の天然アミノ酸いずれかで置換されている、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 13】 前記陽性に荷電した残基はアルギニンまたはリジンである、請求項 12 記載の組成物。

【請求項 14】 前記 I L - 1 は成熟ヒト I L - 1 であり、前記陽性に荷電した残基は位置 127 におけるアルギニンである、請求項 13 記載の組成物。

【請求項 15】 前記ワクチン抗原は、タンパク質、ペプチド、ホルモンおよび糖タンパク質からなる群から選択される、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 16】 前記ワクチン抗原は、ウイルス抗原、カビ抗原、寄生虫抗原、細菌抗原、アレルゲン、自己免疫関連疾患連抗原および腫瘍関連抗原からなる群から選択される、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 17】 粘膜内、筋肉内および皮下からなる群から選択される方法で投与さ

れるための、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 18】 医薬的に許容されるビヒクルをさらに含む、請求項 8 記載の組成物

。

【請求項 19】 前記対象は脊椎動物である、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 20】 前記対象はヒトである、請求項 8 記載の組成物。